

2学期の始業式

9月1日(木)に、2学期の始業式を行いました。子どもたちは、夏休み気分も一新し、落ち着いた雰囲気です。新学期を迎えることができました。



いよいよ2学期です。平荘っ子のみなさん、夏休み中は、元気に過ごせましたか？

登校してから始業式までの間に、みなさんの頑張っている所をたくさん見つけられましたよ。頑張っていますね。

二つ目は、周りの人を大切にすることです。「自分がされて嫌なことは、人にはしない」です。

三つ目は、自分を大切にすることです。自分を大切にしないと、頑張りたいことがあっても頑張れません。心も身体も大切にしましょう。

2学期に、平荘っ子に実行してもらいたいことを3つ言います。
一つ目は、目標をもって、いろいろなことにチャレンジすることです。
2学期もたくさんの行事があります。行事を通して、自分の役割を自覚し責任をもって行動してほしいと思います。

9月は「いじめ防止啓発月間」です

9月は、加古川市の「いじめ防止啓発月間」です。



始業式の時に、子どもたちに、「今日登校してきた時に、正門の所に横断幕が掲げられていたのですが気が付きましたか。」と尋ねてみると、『決めたんだ 見て見ぬふりは もうしない』という言葉が書かれていました。」と答えが返ってきました。2学期初日、人を大切にすることを、平荘っ子で確認しました。

『いじめ防止市民フォーラム』が開催されました

9月3日（土）に、加古川市民会館において、『いじめ防止市民フォーラム』が開催されました。当日は、市内の生徒会の代表（12名）が、『私たちの伝えたいこと』と題して提言発表をし、その後、兵庫県立大学の竹内和雄准教授をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われました。

この『いじめ防止市民フォーラム』の実施に当たっては、加古川市内の小中学生の代表が、8月26日（金）に市民会館に集まり、『いじめをなくすためには、どうすればいいのか』をいろいろと議論しました（『心の絆プロジェクト代表者ミーティング』）。その内容を、『いじめ防止市民フォーラム』の場で、市民に向けて発信しました。本校からも、8月26日（金）に、児童会の代表者が『心の絆プロジェクト代表者ミーティング』に参加しています。

《児童会・生徒会代表者ミーティングからの提言発表より》

子どもたちが、『いじめをなくすためには、どうすればいいのか』を真剣に考えた結果、保護者・先生・市・自分たちに、それぞれ3つの提言を発信しました。以下、9月3日（土）の『いじめ防止市民フォーラム』における児童会・生徒会代表者ミーティングからの提言発表を記載します。

《保護者への提言》

- ①ルールを押し付けすぎないでほしい
- ②自分の気持ちを否定したり、注意したりせずに理解してほしい
- ③ごはんや会話など、家族の時間をもっと増やしてほしい

《先生への提言》

- ①授業が楽しくなるように先生にボケてほしい
- ②気分を態度に出さないでほしい
- ③怒る時に「なんでしたん？」ではなく「なにがあったん？」をはじめに聞いてほしい

《市への提言》

- ①具体例を示していじめをなくす授業をしてほしい
- ②河川敷に有名人を呼んでほしい
- ③子ども参加のイベントをしてほしい（例：伝統行事をみんなでなど）

《自分たちへの提言》

- ①いじめといじりのちがいをを見つける
- ②悪い所より良い所を見つける
- ③見た目で判断せず一人一人の個性を認め合う

小中学生に実施した「いじめについてのアンケート」より、わかったことを生徒会が代表で伝えてくれました。

- ・いじめは、中学生より小学生の方が多く結果が出ました。これは、いいことか悪いことかの判断がつきにくいからかなと考えました。集団になると気持ちが強くなることもわかりました。
- ・「いじめ」と「いじり」は、人によって基準が違います。受け取る側が、どうとらえるかですが、「いじり」もくりかえされることでだんだん気持ちがしんどくなってきます。やっている側はおもしろがっていても、やられている側は違います。
- ・年齢が進むにつれて、どんどんいじめが巧妙になってきます。見つかりにくくなってきます。SNS によるいじめが出てきます。

いじめをなくすためには、どうしたらいいのでしょうか。（子どもたちの提言より）

- 保護者へは、家族が一番身近な存在なので、会話を大切に、家族に認めてもらいたいそうです。
- 先生へは、話を聞くときは、『何があったん』と寄り添ってほしいそうです。そして、授業で楽しい雰囲気を作ってほしいそうです。
- 市へは、子どもたちが交流する場・イベントを計画してほしいそうです。学校とは違うお互いが理解する場（楽しく幸せな気持ち）がほしいそうです。
- 自分たちへは、悪い所よりいい所を見つけ伝え合うことで、いい気持ちにしたいそうです。そして、「いじめ」と「いじり」は違うけれども、何度もいじられると嫌になることを意識してほしいそうです。
いじめの加害者は、心の中に嫌なことを溜め込んでしまっ、その嫌な気持ちを人にぶつけてしまいいじめになるので、不安や孤独を溜め込まないように、家庭・学校・地域・自分たちが協力して、みんなが安心できる状況をつくるのが大事だと発信してくれました。